

回覧

池田町コミュニティ・スクール 2025年12月号

地域の皆さんに、一体となって保育園・小中学校を支えていただく、「池田町コミュニティ・スクール」**かわら版**

地域と学校 ~CS推進の鍵~

協働活動 地域学校

※2



焼き芋会 (池田保育園)
保護者や地域の方6名がお手伝い



あいそめ☆らいぶ (会染小学校)
ウッドバーニングを披露する荒木絵里子さん



高瀬川学習 (池田小学校) 岩石に詳しい
荒井章司先生とボランティアの塩島香さん

メリット

教職員

子どもと向き合う時間の確保

園児・児童・生徒

学びや体験活動の充実

地域の人々

生きがいや自己有用感

保護者

学校園や地域に対する理解が深まる

「むずかしいところ」

・認知度の低さ、目的・価値観の共有、負担感、お金、関係作り、学校の敷居の高さ…

「大切なことは?」

・関係者で目標やビジョンを共有すること→CSの協議や熟議



池田町の各学校園のCSの
状況は裏面でご紹介



←長野県のCSの状況はこちら
R7コミュニティスクール調査
まとめ(長野県教育委員会)

冬 休みは、ぜひ子どもたちと 関わりましょう！

子どもと関わる機会は学校の中だけにとどまりません。地域の中でも「子どもがまんなか」の意識で関わることが大切です。さらに「ただいま☆いけだまち」と言われるようなまちにしていきたいですね！

【地域の受け皿】

子どもたちとの関わりは、学校の中だけで完結しません。池田町では、放課後子ども教室や、土曜ふるさとクラブ、ふるさとチャレンジ塾など、**地域住民の参画**を得て、放課後や休日にすべての児童生徒を対象にした学習や体験などの活動があります。最近は共働きの家庭も多く、長期休みの子どもたちの過ごし方が問題となっています。そこで児童クラブなど地域での受け皿が大切となります。



【冬休みと地区行事】

池田町の小中学校では、12月末から2週間ほど冬休みになります。年末年始は家族で過ごす家庭も多いかと思います。新しい年を迎え、地区の交流会や新年会、三九郎など**地区行事**も多く、地元の人人がつながる機会でもあります。



【大人と子どもが地区で学ぶ】

地区の中で子どもと関わる機会は大切です。子どもたちにとっては、自己肯定感の育成や地区的担い手としての自覚をする機会になります。さらに、そこで培われたつながりがよりどころとなり、地区の課題についても関心を持つようになります。



【つながる「まちづくり】

「ただいま☆いけだまち」のスローガンのもと、子どもも大人も**自分らしさ**を大切にし、「**地域の子どもは地域で育てる**」精神の地域づくりに向け、来年も引き続きご協力をよろしくお願いします。

三九郎など地区の行事に参加しましょう！知っているお子さんだけで構いません。まずは新年の挨拶やお話することから始めましょう!!

問い合わせ 池田町教育委員会 電話 61-1430 Fax 61-1665

«ただいま☆いけだまち ~小さな町で大きな幸せを見つけよう~»

「雑誌だって資源ごみ。読み終わったら燃やさず分別！ リサイクル！」

第3回 コミュニティ・スクール (cs) の報告

2025年12月3日(水)、各学校園でCSの委員が集まり学校園運営や必要な支援について協議する**学校園運営協議会**が開かれました。学校評価アンケートや授業参観、行事参観などを踏まえた**成果や課題を熟議**しました。

【池田園小CS】 自ら学び、共に考える子

【主な協議内容】

- ・池田小学校校内学校評価と学校関係者評価
- ・各園小より活動報告等
- ・今後のコミュニティ・スクールについて



【良かったこと】

- ・地域の方から「池田小学校の児童は挨拶が自然とできていて素晴らしい」という声が寄せられた。
- ・児童が保育園児を可愛がってくれた。
- ・授業時に子ども同士のグループディスカッションが見られた。
- ・公民館活動に合唱団が出場した。

【課題】

- ・池田園小応援隊の方々に若い人が少なく、高齢化してきている。
- ・クラスによって男女の間に線のようなものが見られる。
- ・学童クラブでは、きちんと座っていられない子どももいる。

【今後の取り組み・提案など】

- ・保護者に呼び掛けければ、一定数の志のある方々が手伝っていただけるのではないか。
- ・普段より壁を作ることなく誰とでも話せるような人間関係作りを行っていったらどうか。

【委員より】

- ・池田小学校に行かせていただくが、どの授業を見ても大変素晴らしいです。先生方の努力に感謝です。
- ・音楽会では地域の方々の温かな拍手や笑顔一杯な表情をいただけてありがとうございました。

【会染園小CS】 自らうごく会染の子ども

【主な協議内容】

- ・園・校の教育目標に関わる方向性について
- ・授業参観、行事参観をしての感想
- ・コーディネーターによる進捗状況の報告
- ・学校評価アンケートの報告



【良かったこと】

- ・子どもが主体の運動会を創り上げた。
- ・保育園では統合後初めての運動会や焼き芋会、中学生交流を行い、良い雰囲気で人数の多さを活かさせていた。
- ・「あいそめ☆らいぶ」、読み聞かせは好評である。
- ・よく働く、動くが自発的に出来ている。

【課題】

- ・焼き芋の薪の確保が難しい。
- ・ボランティア募集をしたが、あまり集まらなかった。
- ・あいさつについては個人差があり、苦手な子もいる。
- ・タブレット端末の使い方について(児童館)。

【今後の取り組み・提案など】

- ・防災参観において消防団等との協力の検討。
- ・主体性など学校園で培ったものを児童館でも大事にしたい。
- ・タブレット端末の有効活用と、大人に向けたデジタル学習基盤についての研修の模索。

【委員より】

- ・子どもたちの姿から、どれだけ毎日の生活や行事を楽しみにしているのかが伝わってきます。
- ・あいさつが苦手な子もいることを大人が理解することも大切。気軽に周囲とコミュニケーションを図る時代ではないのです。

【高瀬中CS】 自ら拓き 共に生きる生徒

【主な協議内容】

- ・学校自己評価の結果説明及び学校関係者評価について
- ・学校の子どもの様子
- ・CSに関わるボランティア活動の現状と今後の取り組み、募集など



【良かったこと】

- ・4校園同時引き渡し訓練を各地区の自主防災会長さんに見学していただいたことで、学校の取り組みや生徒の姿を知っていただく機会となった。
- ・今年度は、部活動の地域展開に向けて、すべての運動部で地域の方に関わっていただくことができた。

【課題】

- ・防災教育として、さらに地域の方々と関わる取り組み。
- ・さらなる協働の学びと個別最適な学びを一体化した授業改善。
- R9年度実施予定の休日の部活動の地域展開。

【今後の取り組み・提案など】

- ・小学校での防災教育を踏まえて、中学校3年間の防災教育計画の立案。
- ・町や地域の防災訓練への中学生の参加の模索、検討
- ・個別最適化された学習を選び取れない生徒への対応や支援。

【委員より】

- ・高瀬祭や体育祭など、前年度を踏襲して行うだけでなく更に工夫を加えて行って良かったです。
- ・授業参観の時、校内ですれ違った生徒が自分から挨拶をしてくれました。とても良いことだと思います。